



代表取締役
島康記さん

オーダーメイドを貫き 「世界に一つだけ」の 家具・キッチンづくり

桜井市東新堂にある有限会社島家具製作所は創業から57年が経ち、一貫してキッチン周りのライフスタイルデザインを提案してきた。数々の「オーダーメイド」商品を世に出し、吉野産ヒノキを使ったオリジナルデスク「木色(きいろ)の机」は、手づくりの木肌感が伝わる人気商品に育てた。さらに木の端材を有効活用した「エコまな板」は、おろし金のような角ばった形にしており、立て掛けてカビが発生しにくいデザインに仕上げている。2代目代表の島康紀さん(56)に話を聞いた。

Made
in
奈良

桜井市 有限会社 島家具製作所

創業者の父・成信さん(2年前に他界)は、吉野町上市出身の家具職人。島さんが3歳の時に桜井市の現工場のある安倍木材団地の方へ自宅兼工場という形で引っ越してきた。「僕が小学校へ行くぐらいかなあ。小売りもそこでちょっとずつやるようになったのですけど、その5、6年後に小売りと工場では手狭になるからということと、僕が中学校ぐらいの時に現本社の所在地に生まれました」と振り返る。

平成元(1989)年、建材メーカー大建工業株式会社(本社・大阪市)に就職。システムキッチンの商品開発(デザイン)に携わる。仕事としての面白いプロセスを感じながら6年間勤めた。ただ、「量産よりも一人一人の顔を見ながら作れるオーダーメイドの方が面白いなあ」と、そちらの方に注力するようになっていった。

桜井の会社に専念するようになったのが平成7(1995)年。従業員はパートを入れ10人いた時代。店は仕入れ商品を売る。工場はOEM(他社ブランドの製品を製造すること)先から仕事をもらう。いわゆる下請けの仕事として工場を動かしていた。

島さんは「当時、ゼネコンの孫請けみたいな形でマンションに取り付ける下駄箱を受注していました。マンション1棟100部屋あったら100台。ポリウレタン

④オリジナルの「木色の机」⑤「エコまな板」と木へら



ムがある仕事でしたが、コスト的にもきつい。納期もきつい。でも、仕事はある状態だったので、とにかくこなしているという感覚でした」と話す。

平成13(2001)年、有限会社に。島さんが代表になったのは同26(2014)年。マンションの仕事

を徐々に減らしていく中で、経験を生かすためオーダーキッチンの仕事へと転換していった。「オーダーキッチンだけで商売されている方が世の中には何人もいらっしゃる。そういう方たちは工場を持たれていないケースが多い。木部のキャビネットに関しては木工所に発注するところのように。そういうところのお付き合いというのも次第に出てきて、オーダーキッチンがそれなりに、うちの工場で回るようになりまして」と話す。

自社で作っているのはキッチン、収納の「箱もの」がメイン。12年前にオリジナルデスクも始めた。きっかけは、桜井木材協同組合青年部の製材所から出る端

オリジナル「木色(きいろ)の机」を12年前からスタート カビが発生しにくい「エコまな板」は木の端材活用

と。ところが、木を加工して机や椅子にできる組合員がおらず、島さんのもとへ「僕らの材料で小学校用の机と椅子にしてくれないか」と持ち込まれた。「これをそのまま真似せんでもいいのだったら、うちの機械でできるようなものを試作してみようか」と、島さんはその話に乗った。そして、家庭用の学習デスクを開発して、販売するようになった。

さらに、「エコまな板(消費税別で1800円)と木べら。これもオーダーキッチンをやっている、キッチングッズで何か吉野産ヒノキから出る端材で作れるものはないかなあ、という流れから、こういう形のまな板があってもいいんじゃないか、そういうアイデアが出てきて形にしたものです」と話す。

「どうしても建築とくっついて流れて仕事をやるもんですから、建築でトイレや給湯器が品薄になっ

ていたり、現場にそういう資材が入ってこないため、納期がずれてしまいがちです。予定していた時期に、得意先からキッチンを入れたいという話をきいても、どんどんずれていく。だから、工程を組むのが日替わりになったりしてバタバタします」とも。

ただ、新型コロナウイルスによる影響は少なく、業績にほとんど左右されていないのが現状だ。その上、何かの縁でつながった工場の得意先は近畿圏の大阪、神戸、滋賀、京都などに5、6社あるのが強み。

「以前は仕事を出してやっていた、という感じがありました。今お付き合いさせてもらっているところは、みな同じ目線の中小のところばかりで、フラットな感じ。そういうところは『うちでないと嫌や』と言ってくれるので、現場でのクレームが少ないのです。何が一番かと言ったら、それが一番です」とほおを緩ませる島さん。

形だけの営業をしなくても物件があり、金額がお互いに合って現場に合わせられ、仕事として入ってくるため、特段の営業活動をしていない。本社と同居するショップについては、島さんの妹・岡田康子店長との二人三脚。

島さんは「ここに店を構えて、ホームページを開設しています。SNSで発信して、それで知ったお客さんが来てくださって、とい



○創業=昭和40(1965)年
○代表取締役=島康記 ○従業員=3人
○事業内容=オーダーキッチン事業および造作家具の開発・製造・販売・施工▼国内外家具・デザイン雑貨の小売販売、マンション物件用家具の製造
○本社・ショップ住所=桜井市東新堂513-1
○定休日=水曜・木曜
○電話番号=0744(43)7512
○ファクス=0744(43)2631

う流れなんです。僕自身が出歩く営業活動はしなかったです」ときっぱり。「家具・キッチンで人々の暮らしをもっと素敵に」をモットーに、デザインやサイズなどのさまざまな要望に応え、「世界で一つだけ」の家具・キッチンづくりを自負する島さん。「そもそもモノづくりが好きですが、僕自身が木工職人でもないわけで。経歴からしたらデザイナーのはしくれやったわけです。モノをアウトプットしていく(生み出す)中で、トータル的な楽しさを発信できたらと思います。趣味と実益が絡み、何か遊びベースでできたら面白いかなという夢はありますね」と目を輝かせた。



<https://shimakagu.com/>